

2026年6月16日

各位

J A三井リース株式会社

蓄電所を投資対象とする「カン-denchi ファンド」への参画  
～再生可能エネルギーの導入拡大と電力需給の安定化に貢献～

J A三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：松本 恭幸、以下「J A三井リース」）は、関西電力株式会社（本社：大阪府大阪市、取締役代表執行役社長：森望、以下「関西電力」）、株式会社きんでん（本社：大阪市北区、代表取締役社長：上坂 隆勇、以下「きんでん」）、および株式会社三菱 UFJ 銀行（以下「三菱 UFJ 銀行」）の子会社である株式会社 MUFG サステナブルエナジー（本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木 洋介）の3社で組成する、系統用蓄電所を投資対象とする「カン-denchi ファンド」（以下「本ファンド」）に有限責任組合員として参画しましたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

### 1. 出資の背景と目的

近年、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入が拡大するなかで、電力が余る時間帯に発電を制限する出力抑制を講じる事例が増加しています。一方で、蓄電所は生産された電力が需要を上回る余剰時に充電し、不足時に放電することで電力需給の安定化に貢献することができます。

本ファンドは、再生可能エネルギーの導入拡大や電力需給の安定化に資する蓄電所の開発・導入を目的として組成されたものです。関西電力グループが開発・運営する蓄電所を投資対象とし、約25万kW規模の系統用蓄電所事業への投資を推進します。

J A三井リースグループは、経営基盤強化5カ年計画「Sustainable Evolution」の重点施策の一つに「ビジネスモデルの進化」を掲げ、「エネルギー・トランジション」を成長領域と位置づけています。2025年3月に取り組んだ北海道札幌市での蓄電所事業（[プレスリリース](#)）や2025年9月に取り組んだ茨城県水戸市および静岡県浜松市での蓄電所事業（[プレスリリース](#)）をはじめ、数多くの再生可能エネルギー事業や蓄電所事業などに取り組んでまいりました。

本ファンドへの出資を通じて、系統用蓄電所事業のさらなる拡大に貢献することで、再生可能エネルギーの導入拡大や電力需給の安定化を図ります。今後も持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素社会の実現と地域社会の発展に資する取組みを行ってまいります。

## 2. 出資先の概要

ファンド名	カン-denchi ファンド 1 号投資事業有限責任組合		
設立年月日	2026 年 3 月 31 日		
投資対象	特別高圧の蓄電所（匿名組合出資持分を保有）		
出資者 （無限責任組合員）	カン-denchi ファンド合同会社（関西電力出資） きんでん蓄電池ファンド合同会社（きんでん出資） 株式会社 MUFG サステナブルエナジー（三菱 UFJ 銀行出資）		
ファンド規模	65 億円	存続期間	26 年

### 【関連する SDGs】



以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

J A 三井リース株式会社 経営管理部 コーポレートコミュニケーション室  
電話：03-6775-3002 MAIL：JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp